

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業式などで来客数が多く、セットや着付けのオーダーが多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・週末を中心に観光客がかなり増えている。LCCを利用して、当県へ来る外国人観光客も増加している。また、春休みになって学生を中心に来街客が非常に多くなっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・送別用商品の売行きが良く、例年よりも単価が少し上がっている。法人向けのお祝い用品の注文も多かった。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・現業系の客の来店が引き続き好調である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・まだ肌寒いが、来客数も増え、客単価も上昇している。2%の消費税の引上げだと、余り影響はないという客もいる。景気は悪くはなく、競合店の売上も良いようだ。
		家電量販店（副店長）	販売量の動き	・白物家電の販売が好調である。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・各店舗とも来客数は好調である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業、入学シーズンのため客が増えている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・超高額な宝飾貴金属の売上がここ数か月軟調で、全体の重しとなっている。一方、高級アパレルや雑貨、化粧品は好調を維持している。庶民の関心や行動はコト消費が中心となる傾向にあり、モノへの関心は価格や珍しさだけに集中している。生活必需品等の値上げを4月に控え、多くの人の財布のひもは固いままである。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・販売量の前年割れが止まらない。同じフロアの店舗がかなり撤退している。
		百貨店（営業統括担当）	販売量の動き	・新規物産展を実施した影響もあり、来店客数が前年対比プラスで推移し、それに連動して食品の売上も伸長した。併せて3月は高額商品が好調に推移した。しかし、春物に切り替わっても衣料品のマイナストレンドは継続しており、店全体では前年並みである。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客が来ても、単価が上昇しないというデフレの状況が収まらない。平成の終わりで、もう少し景気に弾みがつくのかと思ったが、変わった様子はない。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品の値上げが断続的に続いており、該当する商品については客が近隣の店舗との買い回りをしている。ドラッグストアなど食品の利益率を抑えた店舗が低価格を打ち出してくるので、競争が厳しくなっている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・売上は前年を上回っているものの、客数が前年割れで推移する傾向は変わらずである。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月の中旬までは引き続きそこそこ良かったが、それ以降は単価が下落し、来客数も減少した。大きな減少はないが、今までとは少しテンポが変わってきた。
		衣料品専門店（営業責任者）	来客数の動き	・前年比でややプラスで着地する見込みだが、寒さの影響もあり客数が余り伸びていない。店舗によってかなりばらつきが出ているが、景気は大きく変動していない。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・12月からセールを行っているため、それ以前に比べ販売台数は良い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は対前年並みで推移している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・来店客数の減少を客単価の増加でしのいでいる状況が続いているが、必要なものしか購入しない傾向にある。

	タクシー運転手	来客数の動き	・ 歓送迎会增加し、少しは良くなるかと思っていたが、1月頃から余り変わらない。お遍路もまだこれからで、来月から本格的に始まるので、今月のプラス要素にはなっていない。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・ 特段の変化は見られない。	
	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・ 販売計画に対して90%の販売数にとどまる見込みである。	
	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・ 販売量、入場者数共に同水準で推移、利用者の投資額も伸びていない。	
	設計事務所（所長）	単価の動き	・ 特に状況は変わっていない。	
	商店街（代表者）	それ以外	・ 都市としての将来的方向性が全く打ち出されていない。特にこの厳しい時代にリーダーの先見性や街づくりに取り組む意欲、姿勢が見えない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ 例年は卒業シーズンで客の動向が活発になる時期であるが、今年はさほど動きがない。3か月前より前年比が少し悪くなっており景気の停滞・減退を感じる。消費税の引上げ前であることに加え、中国、米国の景気も停滞、減退しており、不安感がある。	
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・ 前年だけでなく、過去数年と比べても、年度末の外商のお届け件数が減っている。	
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・ 今年に入り、客単価の低下が続いている。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ 決算月だが2月が好調だった分、落ち込んだ。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・ 耐震工事で5軒の大型旅館が改築中で、当温泉地の雰囲気にも影響が出ている。また、温泉の本館工事がいよいよ始まり、旅館の売上は少し減っている。宿泊客も減っているが、一方で商店街は大変にぎわっていて、こちらは良い雰囲気がある。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ ここ数か月、来客数が余り伸びていない。また、サービスの単価上昇がなく、デフレ経済で動いているように感じる。なかなか景気は戻らず、逆に悪くなっている。	
	旅行代理店（営業担当）	単価の動き	・ 当初、ゴールデンウィークで高額な旅行に申込みをしていた人が、若干安いプランに移行している傾向がある。	
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ 例年なら、この3月から来店客数、売上共に上昇するが、相変わらず前年比マイナスのまま、悪化の一途をたどっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・ 客単価が低く、それに付随して売上も良くない。3月は異動等で、人の動きがあるものだが、例年どおりの需要がない。23時の最終電車を利用するために、人が徒歩で駅まで移動している。昼間の状態も余り良くない。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 前年後半から新規取引先開拓を積極的に推進した結果、弊社としては売上高が前年比でやや良くなってきた。しかし産地全体の動きは前年比で厳しい。	
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・ 主力造船関連の当社取引先からは順調に受注が来ている。	
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・ 卸売市場の販売環境は、大型野菜を中心に入荷が安定し、11月から安値基調が続いている。一方、売場での販売手法の変化が乏しく、利益確保を優先し、量販体制がとられていない。このため、低調な取引が続いている。	
	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・ 住宅契約戸数は消費税の引上げの影響で増加しているが、現場の職人が不足しており、工事が進んでいない。そのため、受注量は若干の増加で推移している。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 中国向けの化粧品在庫整理がまだ十分に進んでおらず、もう少し時間が掛かる。	

	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前の受注が増加すると想定していたが、目立った変化はない。前年に原料の価格高騰による価格改定を実施した影響もあり、食品分野が特に低調である。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量について、3か月前からおおむね安定的に推移している。また、取引単価に関しても、変化が見られない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多少、仕事は取れたが、まだまだ不足している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年どおり、年度末で公共事業の納期が集中しており、仕事は繁忙で、売上、入金も増えている。今年度は災害対応業務があったことから、例年よりも仕事が増えている。
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・またじわじわと原油価格が高騰している点が気になる。とにかく安定感が欲しい。
	輸送業（経理）	取引先の様子	・年度末の荷動きは前同とほぼ同じ見通しとなっている。
	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・3月は大学生の進学移動や新社会人の就職移動に加え、企業の人事異動に伴う引っ越しが集中する時期であるが、希望の日程どおりに引っ越しができないという声を聞いた。輸送するトラックの不足が主な理由であるが、一方で労働力不足、人件費の高騰を背景に引っ越し業者が客に提示する料金を大幅に値上げしている状況が見受けられ、引っ越し難民も多く発生している。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の経営者から聴取したところ、余り景気の変動はない。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各法人の決算内容、試算表等を分析すると、利益面は前期比で若干、減少している法人もあるが、ほとんど変わらない企業が大半である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生可能エネルギーは、太陽光も、バイオマスも非常に厳しい。建設費が高騰し、採算に合わない。鉄骨の価格上昇など、いろいろな部分で予算オーバーし、採算が取れるかどうか分からない水準である。
	x	-	-
雇用 関連 (四国)		-	-
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・消費税の引上げ前に、一時的でも景気が良くなる。
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・製造業の需要は増えており、求人数は増えているが、高度な人材を求める傾向にあり、派遣の就労につながらない。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・自社採用と派遣を併用して人材募集を掛けている企業が増加してきた。
	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・働き方改革を推進し、人材不足を業務効率の改善でカバーするために、従来の期間雇用者を正規雇用へと移行する企業が増えている。人材の育成と確保を目的として社員登用を推進し、景気回復にも取り組んでいる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・低いままに停滞しており、変わらない。
	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・2月の有効求人倍率は1.73倍で、3か月前と比べて0.09ポイント増加しているが、最近、企業整備情報が増加しており、同じような状況がしばらく続いている。
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・建設業においては、有効求人倍率が高い水準で推移しており、求人をあらゆる手段で出しているが、なかなか集まらない。仕事を受注したくても、受注できないというジレンマを抱えている。特に、技術者の採用には、諦め感がある。今後の企業運営に頭を悩ましている経営者が多い。
	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・人手不足に困っている企業でも、長期にわたる採用難で、不足している人手に合わせて業務を遂行している企業が増えてきた。受注制限等を行っている製造業者も見受けられる。
	x	-	-